

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

グループのコンテンツ、サービスの価値を最大化し、「総合コンテンツ事業グループ」
として成長を続ける

連結売上高
925億円

営業利益
27億円

経常利益
27億円

親会社株主帰属純利益
31億円

② 中長期の経営戦略

1. 放送事業の収益力維持

放送の信頼性を向上させ安全・安心に貢献。企画・提案力を強化。
TVerやradikoへの配信を強化

2. コンテンツ事業の成長強化

実写コンテンツはドラマ・バラエティ・ドキュメンタリーを軸に展
開。アニメは周辺事業と海外展開を拡充

3. ハウジング事業の進化

トップクラスシェアの優位性を活かし、住宅展示から顧客に寄り添
うライフスタイル提案の場へ進化

4. EC事業の強化

EC市場の拡大に対応。安全・安心な商品提供で生活者の豊かな生活
に貢献し事業を進化させる

③ 対処すべき課題

① テレビ広告市場の環境変化

- ・ 広告主の固定費見直し傾向への対応が必要
- ・ 2024年度は3年ぶり増加に転じたが持続性確保が課題

② 動画配信市場の競争激化

- ・ 質の高いエンターテインメント系コンテンツのニーズ対応
- ・ 海外コンテンツ市場での競争激化への対応

③ ライフスタイル事業の構造課題

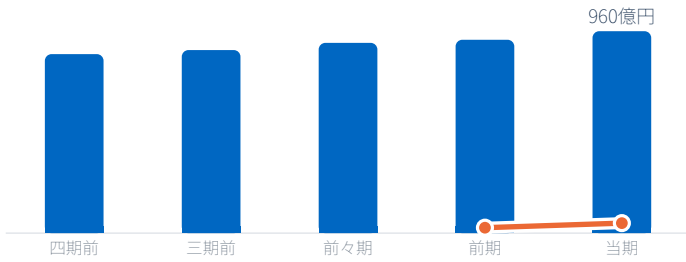
- ・ 人口減少とライフスタイルの多様化への対応
- ・ EC市場での消費者ニーズの多様化・細分化対応

面接で使えるポイント

- ・ 2024年度朝日放送テレビが12年ぶり4冠達成。視聴率向上を背景とした放送事業の業績回復を実現
- ・ ドラマ・バラエティ・ドキュメンタリーの3軸と、アニメ周辺事業・海外展開でコンテンツ事業を成長
- ・ 2026年3月期は連結売上高925億円、営業利益27億円の増収増益を見込む中での経営課題

証券コード 9405

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
960億円営業利益率
5.0%財務健康度
41点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 62.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,465万円

情報・通信業内 4位/592社

平均年齢
48.7歳

情報・通信業内 18位/593社

平均勤続
20.8年

情報・通信業内 5位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 朝日放送HD

